



吉田 ^{たけし} 毅さん
^{ちかよ} 千加世さん
^{あめい} 愛苺さん(16歳)
^{ゆい} 結苺さん(15歳)

●夢レターが届いた時、どう感じましたか？

千加世さん：すっかり忘れていて！娘たちもびっくりしていました。
 愛苺さん：(お父さんとお母さんへの手紙に)今だと絶対に書かな
 そうな内容が書いてあって恥ずかしかったです 笑
 毅さん：家族の関係性や、子どもたちの様子が、10年前も今も、変
 わっていないなあと感じました。

●夢レターは、どんな気持ちで出しましたか？

千加世さん：10年後の子どもたちに、今の私の気持ちを届けたい
 と思って。子どもたちがこのまま元気に育ってくれたら、という願
 いを込めました。

●この10年間は怎么样了か？

千加世さん：とにかく家族で、市内の色々な所へ出掛けていまし
 た。春は滝頭へ桜を見に、夏は海水浴へ、秋はお祭り、冬は菜の花
 まつり。田原市は子育てしていると、出掛ける先に困らない場所
 だったと思います。

●10年後の田原市にはどんなまちになってほしいですか？

毅さん：子育てがしやすいというのは一番大切なんじゃないかと
 思います。子どもたちが暮らしやすく、住み続けたいと思えるまち
 になってもらえたらと思います。
 結苺さん：姉と「亀の子隊」の活動に参加していて、「ここを世界一
 の海にしたい！」と思って頑張っています。
 千加世さん：伝統文化や海や山の自然など、変わらないでほしいと
 ころもありますが、今あるものを大切しながら、暮らしやすいまち
 に、みんなできていかないといけないと思います。

- 左▶ 学業に加え、地域の環境活動や琴の演奏にと忙しい結苺さん。まちの人たちが大好きで、将来は人と関わる仕事に就きたいと考えている。
- 右▶ 昔、ケガをしていた猫を助けられなかった思い出から、田原市で動物を助ける仕事ができたら、という愛苺さん。勉強とスポーツに奮闘中。



▲田原市は子どもが笑顔になる場所がたくさんあった



▲お母さんから子どもたちへ「自分の力を信じて、歩いて」というメッセージ。子どもたちからは「ばば、ままだいすき」とかわい文字が

